



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012/12/7～2014/6/30にご同意いただいた方

**【研究課題名】** 認知症疾患の診断バイオマーカーとしての分泌型アミロイド前駆体タンパクの意義に関する研究

**【研究責任者】** 荒木 亘（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第六部）

**【本研究の目的及び意義】**

認知症疾患の早期診断、早期治療を促進するためには、正確な鑑別診断や予後判定をするための新たな診断マーカーが求められている。

本研究では、患者脳脊髄液中の分泌型アミロイド前駆体タンパク（APP）- $\beta$ 及び分泌型APP- $\alpha$ の量を測定し、その診断的意義・有用性について、他の診断マーカーとの比較検討を行う。

**【本研究に提供している試料・情報】**

髄液

**【問い合わせ窓口】**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)